

実践交流会 12 《研究&教育》

北館 206 教室

第 1 部 <13:40~15:10>

座長 角谷 あゆみ (名古屋大会実行委員)

発表順番	演 題	発表者	施設名	ページ
C12-1	あおぞら診療所高知潮江の職員教育について	佐々木友明	医療法人財団千葉健愛会 あおぞら診療所高知潮江	
C12-2	在宅看護論実習における5年間の看護技術の経験状況	熊野こう	愛知県立総合看護専門学校	
C12-3	活動楽しい?? ~通所リハビリでの活動のあり方~	伊藤正明	医療法人マックス 通所リハビリテーション おあしす	
C12-4	傾聴の6年間を振り返って~傾聴は「話す人」も「聴く人」にも変化をもたらす~	丸山さよ子	医療法人社団萌気会 萌気園老人ホーム「すみれ草」	
C12-5	泡よくば・・・	廣島晶江	医療法人マックス ケアシス訪問入浴ステーション	
C12-6	在宅療養者の睡眠把握と有用性についての検討	沼田美幸	社団法人 日本看護協会	
C12-7	民家改修型福祉施設への縦割り行政許認可から連携調査指導へ	中井佐保子	ウエルネスグループ 社会福祉法人自立共生会 グループホームくわなの宿	
C12-8	日本中に星降るほどの訪問看護ステーションを！！	菅原由美	開業看護師を育てる会	
C12-9	訪問看護師が保証する訪問介護の医療的ケア	水野敏江	医療法人あいち診療会 のなみ訪問看護ステーション	

第 2 部 <15:20~17:30>

座長 山口 晴保 (理事)

《第二部の趣旨》

研究に関する幾つかのテーマを皆で議論したいと思います。

- ①研究のエビデンスとは？ エビデンスのレベルを知る、
- ②対照群とランダム化対照試験の必要性、
- ③アウトカム指標とその選び方、
- ④研究に必要な統計手法 などを皆で議論しながら学びたいと思います。

《進行形式》

まず、座長の山口が研究方法入門レクチャーをします (20分)。
その後、①介入研究、②調査、③アクションリサーチに分けて、各演題を研究技法から振り返り、演者と参加者で議論・提案します。
第1部と同じスクール形式です。

《発表者》

山口晴保 (座長) 群馬大学医学部保健学科・教授
「研究技法入門：研究のエビデンス、アクションリサーチ、統計ソフト」